

人権教育の推進（人との関わり）
「違いを認める」生徒の人権感覚及びいのちを大切にする心や態度を醸成

特別支援教育の推進
特別支援教育の充実

防災教育の推進
避難所体験教室、ジュニア防災検定取得

学力の向上

- ①生徒が主体的・対話的に学べる学習環境を作る
- ②生徒が待ち望む授業の確立
- ③指導と評価の一体化（適正な評価）
- ④放課後学習教室、質問教室等、積極的なラーニングセンターの活用
- ⑤朝読書の徹底及び図書コーナーの活用

体力の向上（主体的な健康管理）

- ①健康診断や体力調査等を活用
- ②健康教育、食育等による健康の保持増進

教育目標 『自立と共生』

〈目指す学校像〉 『魅力・活力・信頼』

- ・元気な挨拶や感謝の言葉と笑顔があふれる学校
- ・デジタル（機械）とアナログ（人）のバランスがよい学校
- ・多様な関わりを求められる社会で生きる力を育む学校
- ・生徒センター方式

〈目指す生徒像〉 『夢・努力・感謝』

- ・違いを認め自他を大切に、常に向上心をもつ生徒
- ・夢の実現に向けて努力し感謝する生徒
- ・自分の才能・価値に自信をもち自己を磨き続ける生徒

〈基本的な考え方〉

- 1 校長、副校長、主幹教諭を軸として組織的な教育活動を行う
- 2 **学校の主役が生徒**であることを常に意識する
- 3 柔軟な発想のもと、臨機応変によりよい方向へ進む

働き方改革（業務改善の推進） **（関わりからゆとりを）**

- ①ノー残業デーの設定
- ③デジタルドリルの活用
- ⑤共働・共助
- ②留守番電話機能
- ④自動採点システムの活用

サービスの厳正
全体の奉仕者であることを意識

生活指導の充実

- ①**礼儀、挨拶、時間**
- ②教職員と生徒・保護者の信頼関係を基盤とし「ことば」を大切にする
- ③特別支援教室（リソースルーム）及び別室指導の充実
- ④SC、特別支援教育支援員等との連携
- ⑤生徒会本部役員や生徒と校長面談を適宜行い主体的な活動を促す

キャリア教育の充実

- ①体系的、系統的な進路指導の充実
- ②多様な進路の選択肢を十分に理解させ、正しい勤労観・職業観を育成する

危機管理の徹底

「報告・連絡・相談・記録」を徹底し、「スピード・正確・チームワーク」を基本に全教職員が組織的に対応する

保護者・地域との連携

- ①学校評議員会、学校公開、HP、H&S、学校だより等を活用して、学校の情報を可能な限り公開し風通しのよい学校づくりを行う
- ②PTA、地域の健全育成機関、所轄の警察等と連携して地域全体で生徒の健全育成を図る
- ③関係小学校と授業研究や児童と生徒の交流（**授業アドバイザー**、運動会補助、部活動見学等）及び**出前授業**を実施して小中連携を推進する